



2020年8月14日

各位

会 社 名 株式会社 BuySell Technologies
 代 表 者 名 代表取締役社長兼 CEO 岩田 匡平
 (コード番号：7685 東証マザーズ)
 問 合 せ 先 取締役 CFO 小野 晃嗣
 (TEL. 03-3359-0830)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2020年5月14日に公表した「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」において未定としておりました2020年12月期の業績予想及び配当予想について、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 当期の業績予想数値の修正 (2020年1月1日～2020年12月31日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	—	—	—	—	—
今回修正予想 (B)	14,685	727	719	425	62.17
増 減 額 (B - A)	—	—	—	—	—
増 減 率 (%)	—	—	—	—	—
(参考) 前期実績 (2019年12月期)	12,828	846	817	505	83.87

2. 配当予想の修正

	年間配当金 (円)				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前 回 予 想	—	0.00	—	—	—
今 回 修 正 予 想	—	0.00	—	15.00	15.00
当 期 実 績	—	—	—	—	—
前 期 実 績 (2020年12月期)	—	0.00	—	15.00	15.00

3. 修正の理由

当社は、出張訪問買取サービス「バイセル」を中心としたリユース事業を展開しております。

わが国における新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、4月7日に東京など7都道府県を対象に緊急事態宣言が発令され、さらに4月16日にはその対象が全国に広げられたことに伴い、出張訪問買取サービスの利用に関するお問い合わせ数が減少するとともに、出張訪問に際しての商談時間の短縮に伴う買取量が減少しました。また、販売においても、古物市場や業者向けオークションの開催の中止及び延期が多く発生しました。さらに、一般消費者への販売（以下、toC販売）のうち催事販売においても、百貨店の休業、営業時間の短縮及び外出自粛による客数の減少により、催事販売における売上の減少が生じておりました。このような中で、当社では広告宣伝費及び経費等の徹底した管理を行うとともに、今後の販売に備えた在庫の繰り越しを行ってまいりました。

一方、緊急事態宣言が解除された5月下旬からお問い合わせ数は回復傾向となり、6月以降の出張訪問あたりの買取量は期初計画を上回る水準で推移しております。販売においても、古物市場や業者向けオークションが再開され、さらに、催事販売においても8月から再開することを計画しております。

また、2020年4月にアプリ買取事業「CASH」を事業譲受により開始、6月にはカタログ通販事業「美つむぎ」を開始したことに加え、買取店舗のトライアル出店を進めるなど、新規事業への投資を計画しております。さらに、認知度の更なる向上を図るべく新たなテレビCM製作を含むマーケティング投資を計画しております。

この状況を踏まえ、現時点において入手可能な情報に基づき、当社の2020年12月期の業績予想を上記の通り公表いたします。

また、当社は株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題の一つとして位置付け、純利益に対する配当性向20%程度を目安として配当を実施することを基本方針としております。

2020年12月期については、上記の通り新型コロナウイルス感染症の感染拡大等による業績への影響があるものの、5月下旬以降、業績が回復傾向にある点及び今期中に新規事業やマーケティング領域での先行投資を業績予想に織り込んでいる点を鑑み、当社の配当方針に加えて、2019年12月期における配当水準を維持する観点から、上記の通り配当予想を公表いたします。

(注) 上記の予想は、現時点で入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づき算出したものであり、実際の業績は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上